

えんちょう先生の わくわくだより

NO.18 H29.11.



干したポップコーンの隣には、マラカスエンドウも仲間入りです。ポップコーンパーティも楽しみです。



収穫の秋. 実りの秋

秋は実りがいっぱい。こども達が春に植えた作物の収穫を喜ぶ季節です。

その作物や野菜を収穫するまでには、畑の草を取ったり、水をやったりと仕事もいっぱい。そんな時を過ごして来ての収穫は、尚更嬉しいものです。又、地域の方に応援して貰ってのさつま芋堀りやハロウィンの行事もみんなで楽しむ事が出来、ありがたく思っています。みんなでこうした行事をする中で、こども達は、教科書こそ無いけれど本当に沢山の学びを身につけます。

いつもは、もっとすんなり抜けたさつま芋も、今年は雨が続いたせいか、抜くにも腰を入れ、思いっきりの力を出しました。土の中からのぞいた芋に「やった！」の感動。美味しい焼き芋を食べるために、冷たい水の中でも我慢しながら芋を洗ったり、アルミ箔から芋が出ない様に包んだり、焼けたモミの中で、ほくほくと美味しく焼けていく芋を想像してワクワクと待ったり、みんなで「あついね」「美味しいね」と言いながら一緒に食べる楽しさを味わったりと、全てが、大事な思い。遊びの中で、こどもを育てる事は、平成30年からの新教育、保育要領の基本となります。ちょっとえらい事もみんなで頑張ると嬉しい時が待っている！そんな経験は、これからのこども達の生きる力になっていきますね。



年中さんは、落花生を収穫。軽トラックいっぱい積んできた茎から、落花生をちぎって干します。取りたての落花生は茹でて食べたら、うまかった！

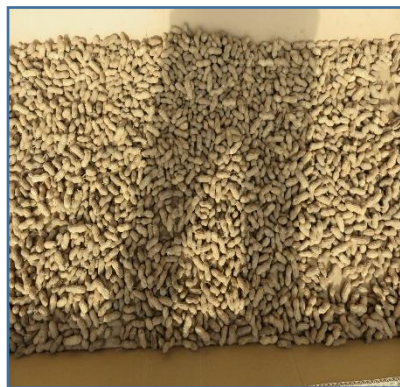


園庭で育てたお米の穂、脱穀は、年少組さんの小さな指先です。こんなに続くのかと思うほど、根気よく穂から、一粒づつ取って、玄米にすると8合もありました。さて、どうやって食べようかな？



今年も服部さんのご好意で、沢山のさつま芋を掘らせて頂きました。

11/13日 朝から芋の焼ける準備に精を出すこども達。芋を洗って、新聞紙で水を取ったらアルミ箔で包みます。年長さんは煙突の周りにモミを運んだり、午後から交流する壮健クラブの方の芋を洗ってくれたり大間に合いました。年少さんも、極力自分で考えて進めていく大事さに、アルミ箔が破れてしまったり、くしゃくしゃになってもそれも経験の内、「やり直せばいいさ！を覚える事も大事だね」と先生達は、見守りませす。安気に失敗をしながら、やり直していく力、大事な非認知能力です。



大きなかぼちゃを掘った ハロウィン



毎年大きなかぼちゃを作って下さる阪上先生のおじいちゃんやリックさんのお陰で、楽しいハロウィンの行事も出来ました。



11/13日
午後からは、壮健クラブの方とマジックを見たり、お芋と一緒に食べたり、楽しいひと時を過ごしました。

